大阪公立大学
Osaka Metropolitan University
学術情報リポジトリ

アメリカ合衆国人口の地域経済的研究

メタデータ	言語: Japanese
	出版者:
	公開日: 2009-08-25
	キーワード (Ja):
	キーワード (En):
	作成者: 谷山, 新良
	メールアドレス:
	所属:
URL	https://doi.org/10.24729/00002187

アメリカ合衆国人口の地域経済的研究

谷　山　新　良

I　序　　説

1. 問題の提起

産業構造の変化，経済の成長，人口の増減は，全国一率ではなく，地域的に凹凸がある。

たとえば，ある国の経済成長率がα%であったといっても，それは必ずしもその国の全地域が一率にα%成長したことを意味しない。ある地域ではα%よりも高い経済成長を遂げたのに，他の地域ではα%に及ばなかった，というのが普通である。人口の増減についても事情は全く同様であって，m 年間に総人口が β %増加したといっても，地域的には異なった増減現象がみられる。たとえば，ある地域には過密的人口集中傾向がみられるのに，ある地域では逆に過疎的人口流出現象がみられるのが昨今の実情である。

産業構造や生活水準などについてもこの間の事情に変わりはない。

すなわち，人口・資源・資本・産業構造・所得 etc. すべての面において，地域的相異があり，不均等発展が認められる。一国の○○成長率は，要するに，全国平均値にすぎない。

たとえば，アメリカ合衆国の総人口は，1860年の31,443,321人から1960年には178,464,236人に大幅に増加している。5.702倍，年増加率にして，1.76%。

ところが地域的にはいろいろ差異がある。人口増加率が全国平均を上廻わっているのは，大きい方から順に Mountain, Far West, South-

west, および Plains の4地域——ミシシッピー河以西の Western Half（西部）地方——である。全国平均に及ばないのは，小さい方から列挙して，New England, Southeast, Middle Atlantic, および Great Lakes の4地域——ミシシッピー河以東の Eastern Half（東部）地方——である。この100年間に最大の人口増加率を示した Mountain 地域は，実に，57.89倍，年率4.16%の増勢である。これに反し，最も増加率の低い New England 地域のそれは3.35倍，年率1.22%にすぎない。

このように，人口の増加には地域的相異が認められる。こうした事情は，ひとり人口増減にのみみられる現象ではなく，経済現象やその他の社会諸現象にも斉しく認められるところである。

そこで，一国の経済事情を研究するにあたっては，その国を一つの単位として (as a whole) 研究するだけでは不十分であって，地域的研究が必要である。換言すれば，総計的研究のみではなく，内訳的研究も必要である。

とくに，洋の東西および南北のいかんを問わず，世界的に地域開発問題が脚光を浴びてきている現在，地域経済的研究は，理論的にも政策（実践）的にも，きわめて重要なテーマであると信ずる。

そこで，本稿では，アメリカ合衆国の地域経済的研究の第1論文として，その人口の地域科学的研究を試みることにする。研究の対象としては，地理的（空間的）には，いわゆる Conterminous U. S.——Alaska, Hawaii および Puerto Rico を除いた本土アメリカの48州1特別地区——歴史的（時間的）には，主に，1860年から1960年にいたる100年間のアメリカ合衆国の人口である。

2. 地域の区分

地域 Region とは何か？ 〝地域〟の定義は，学問的にはいまなお確定していない。ゆえに，これは地域経済学の一つのテーマでもありう

るし，しかも出発点的テーマでもある。地域 Region については，多くの学者や行政官庁その他によってそれぞれの目的と場合に応じた定義が与えられており，またこの概念規定に関する論文も多々ある。

けれども，本稿では，〝地域〟の定義に関する論究はしばらく措いて，直ちに，本論文で採用する地域の区分法を明らかにし，分析を進めることにしたい。

本稿で採用した地域区分法は，アメリカ商務省の委員会 (a committee composed of representatives of three Department of Commerce agencies) が，所得・産業雇用その他の経済諸統計，そしてさらに非経済的諸ファクターを統計的に調査研究した結果，本土アメリカを9つの地域に区分する方法を発表したが，Harvey S. Perloff 理事が主宰・編集したＲＦＦの地域研究双書 *Regions, Resources, and Economic Growth*, (Resources for the Furture, Washington, D. C.) がそれを参考に採用した方法，すなわち，商務省委員会の9地域区分法のうち，"Upper South,, と "Lower South,, の2地域を合せて1地域 Southeast にする8地域区分法を採用したいと思う。[1] すなわち，

(1) New England: 6州
Maine, New Hampshire, Vermont, Massachusetts, Rhode Island, Connecticut

(2) Middle Atlantic: 5州1特別地区
New York, New Jersey, Pennsylvania, Delaware, Maryland, Washington, D. C.

(3) Great Lakes: 5州
Ohio, Indiana, Illinois, Michigan, Wisconsin

(4) Southeast: 12州
Virginia, West Virginia, Kentucky, Tennessee, North Carolina, South Carolina, Georgia, Florida, Alabama, Mississippi, Arkansas,

(1) Harvey S. Perloff and Others, *Regions, Resources, and Economic Growth*, Lincoln, 1960, p. 4–8,

Louisiana

(5) Plains: 7州

Minnesota, Iowa, Missouri, North Dakota, South Dakota, Nebraska, Kansas

(6) Southwest: 4州

Oklahoma, Texas, Arizona, New Mexico

(7) Mountain: 5州

Montana, Idaho, Wyoming, Utah, Colorado

(8) Far West: 4州

Washington, Oregon, California, Nevada

の8地域である。

地域区分

また，H. S. Perloff は次の如き2通りの大区分法も提示している。まず3区分法。

(1) 3地域区分法

1) the Northeast 東北地方

これは，先述の8地域のうち，New England, Middle Atlantic, および Great Lakes の3地域（16州1特別地区）を示し，アメリカ合衆国の〝工業地帯 Manufacturing Belt〟である。

2) the Southeast 東南地方

これは，8地域区分法の Southeast 地域（12州）に当たる。ミシシッピー河以東で Northeast に含まれない地方である。

3）the West　西部地方

8地域区分法の Plains, Southwest, Mountain, Far West の3地域（20州）

さらに，次の東西2大区分法もきわめて有益である。

(2)　2大区分法

1）the Eastern Half　ミシシッピー河以東の東部地方

これは，ミシシッピー河以東の全領域，したがって，前述の3地域区分法の(1) Northeast と(2) Southeast を含む地域である。8区法では New England, Middle Atlantic, Great Lakes, Southeast の4地域——28州1特別地区——である。

2）the Western Half ミシシッピー河以西の西部地方

ミシシッピー河以西の Conterminous U. S.。これは，3区分法の the West 8地域区分法の Plains, Southwest, Mountain, および Far West の4地域，20州である。

Ⅱ　人口の地域的構造と推移

1.　面積，人口，及び人口密度

本土米国 (Conterminous U. S.) の地域別面積，人口数，および人口密度（1平方マイル当り）は　第1表(1)，およびそのグラフたる第1図の通りである。また，第1表(2)は，それらの本土アメリカ (Conterminous U. S.＝100) に対する構成比を示す。

表を一見して明らかなことは，西部4地域は，面積は広大であるが人口数は少いこと，東部4地域は，逆に，面積は小さい（但し Southeast 地域は構成州数が12州もあるので，面積は広い）が，人口はきわめて密である，ということである。

このことは，各地域の人口密度をみれば明らかである。すなわち，

第1表 (1) 地域別面積，人口および人口密度 (1960年)

地域		面積			人口		
地域	構成州数	合計	陸地	河川湖沼	人口数	人口密度	人口密度指数
		平方哩	平方哩	平方哩	万人	人/平方哩	
Conterminous U. S.	48州，1特別地区	3,022,387	2,971,493	50,893	17,846.3	60.1	100.0
(1) New England	6州	66,608	63,126	3,482	1,050.9	166.5	277.2
(2) Middle Atlantic	5州，1特別地区	115,448	112,380	3,068	3,847.9	342.4	570.2
(3) Great Lakes	5	248,283	244,811	3,472	3,622.5	148.0	246.4
(4) Southeast	12	549,790	533,295	16,495	3,875.4	72.7	121.0
(5) Plains	7	517,247	509,674	7,573	1,539.4	30.2	50.3
(6) Southwest	4	572,833	566,812	6,021	1,416.1	25.0	41.6
(7) Mountain	5	517,772	512,078	5,694	431.7	8.4	14.0
(8) Far West	4	434,406	429,318	5,088	2,062.4	48.0	80.0

註(1) 人口密度＝$\frac{\text{人口数}}{\text{陸地面積（平方マイル）}}$

(2) 資料

U. S. Department of Commerce, Bureau of the Census. *Historical Statistics of the United States. Continuation to 1962 and Revisions*, p. 2.

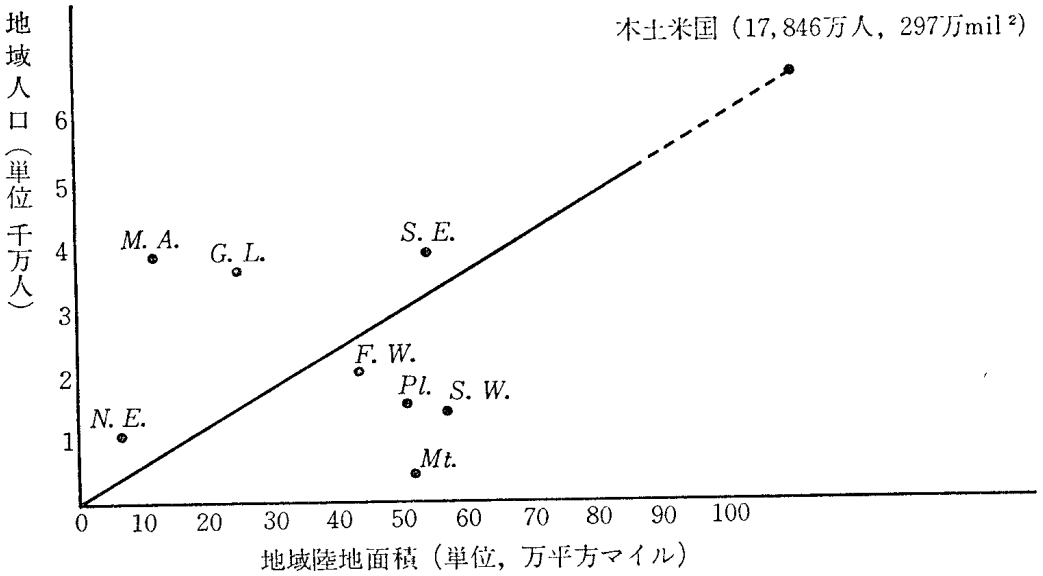
Fairfield Publishers, *U. S. Deskbook of Facts* and *Statistics*, 1964–1965, p. 169.

第1表　(2)　地域別面積および人口の構成比

地　　域	面積			人　口
	合　計	陸　地	河川湖沼	
Conterminous U. S.	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
(1) New England	2.2	2.1	6.8	5.9
(2) Middle Atlantic	3.8	3.8	6.0	21.6
(3) Great Lakes	8.2	8.2	6.8	20.3
(4) Southeast	18.2	17.9	32.4	21.7
(5) Plains	17.1	17.2	14.9	8.6
(6) Southwest	19.0	19.1	11.8	7.9
(7) Mountain	17.1	17.2	11.2	2.4
(8) Far West	14.4	14.4	10.0	11.6

註(1)　本表は第1表(1)より作成。

第1図　地域陸地面積と地域人口



西部4地域の人口密度は，すべて，全国平均の60.1人を下廻わっており，Mountain 地域のごときは，わずか8.4人にすぎない。指数にして14.0。人口密度の一番高い Plains 地域でさえ30.2人（指数50.3）。これに反し，東部4地域の人口密度は，いずれも，全国平均を上廻っている。一番密度の高いのは Middle Atlantic 地域で342.4人，指数

にして570.2。最も低いのでも Southeast 地域の72.7人（指数121.0）。

いまもし，8地域をミシシッピー河を境界線として，4地域ずつ，Eastern Half と Western Half の2大地方に一括 (blanket) すれば，前述の特徴が浮彫りにされてくる。すなわち東部は（陸地）面積では

第1表 (3) 2大区分法による面積人口および人口密度（1960年）

地域	面積		人口		
	陸地面積	構成比	人口数	構成比	人口密度
	平方哩	%	万人	%	人
(1) Eastern Half（4地域，28州1特別地区）	953,612	32.1	12,396.7	69.5	130.0
(2) Western Half（4地域，20州）	2,017,882	67.9	5,449.6	30.5	27.0

32.1%を占めているにすぎないが，人口数では69.5%を占有している。これに反して西部は面積で67.9%，人口数で30.5%。東部と西部は，人口と面積の構成比が，全く対蹠的になっている。人口密度では，東部の130.0人に対し西部は27.0人。大体，5：1の比率である。

ゆえに，東部と西部は，大体において，面積で1：2，人口数では，逆に，2：1，人口密度で5：1。これが東部地方と西部地方の面積と人口に関する特徴である。

（註）

アメリカの今年度（1966年度）の小麦の作付け面積は6820万エーカー。ところが，農地となりうる未墾地は8億エーカーといわれる。（日本経済新聞1966年10月11日）未墾地の大部分は西部の大部分と南部の一部にある。Nevada, Wyoming, Nebraska, Minnesota, North Dakota, Arizona, New Mexico, Texas, etc. には広漠たる大砂漠——灌漑すれば美田になるものが多い——や大草原 (prairie) が，延々と続いている。西部の，こうした大草原・大砂漠では，交通の要所要点に大小の都市や集落が若干あるだけで，途中は，全く，人影を認めることの出来ない無人境である。他方，南部の Georgia, South Carolina あたりには savannah とよばれる大湿地帯や森林が，果しもなく拡がっている。ここもまた人影が少い。

これに反し，五大湖周辺，Middle Atlantic 地域，New England 地域のいわゆる工業地帯は都市も多く，工業・農業・牧畜・商業 etc. の諸産業も盛んである。したがって人口が多い。

2. 地域人口の推移

第1回国勢調査（そして世界最初の国勢調査）が行なわれた1790年のアメリカの人口は3,929,214人であった。（ただし，これは，当時のアメリカ，すなわち New England, Middle Atlantic, および South-east（の1部）の3地域の人口である。）ところが，1960年現在，本土アメリカ (Conterminous U. S.) の人口は178,464,236人に達している。45.4倍，第2表(1)参照。

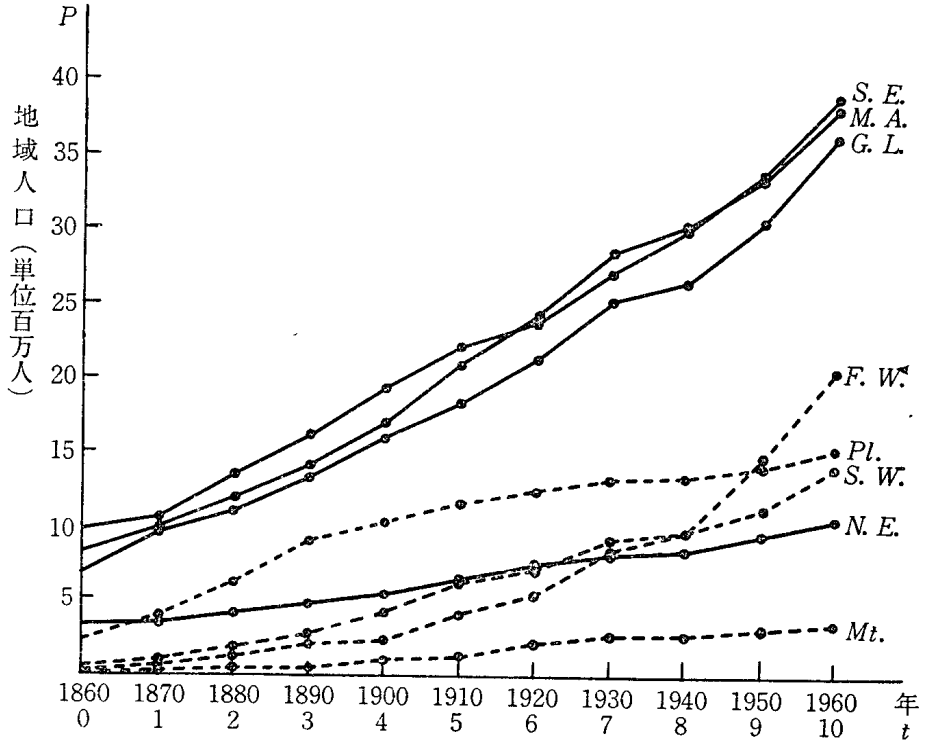
また，いまからおよそ100年前——南北戦争の直前であり，さらにまた8地域の地域別人口が統計書に出揃う——1860年の総人口は31,443,321人であった。ゆえに，アメリカの人口はこの100年間に5.70倍，年率1.76%増えたことになる。第2表(1)および(3)参照。

(1) 地域人口の絶対増加数

まず，1860年から1960年にいたる1世紀間の，8地域人口の絶対増

第2図　地域人口の増加（1860年～1960年）

（実線……東部4地域
点線……西部4地域）



第2表 (1) 地 域 人 口 の 推 移

地域	構成州数	1790	1800	1810	1820	1830	1840	1850	1860	1870	1880	1890	1900	1910	1920	1930	1940	1950	1960	1860年～1960年 増加人口数	構成比
		人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	万人	%
Conterminous U. S.	48州, 1特別地区	3,929,214	5,308,483	7,239,881	9,638,453	12,860,702	17,063,353	23,191,876	31,443,321	38,558,371	50,155,783	62,947,714	75,994,575	91,972,266	105,710,620	122,775,046	131,669,275	150,697,361	178,464,236	14,702 1	100 0
(1) New England	6州	1,009,408	1,233,011	1,471,973	1,660,071	1,954,717	2,234,822	2,728,116	3,135,283	3,487,924	4,010,529	4,700,749	5,592,017	6,552,681	7,400,909	8,166,341	8,437,290	9,314,453	10,509,367	737 4	5 0
(2) Middle Atlantic	5州, 1特別地区	1,337,456	1,816,530	2,483,393	3,203,280	4,141,713	5,108,109	6,624,988	8,333,330	9,848,415	11,756,053	14,147,495	17,106,175	21,144,629	24,371,379	28,617,525	30,290,327	33,626,797	38,479,389	3,014 6	20 5
(3) Great Lakes	5州	...	51,006	272,324	792,719	1,470,018	2,924,728	4,523,260	6,926,884	9,124,517	11,206,668	13,478,305	15,985,581	18,250,621	21,475,543	25,297,185	26,626,342	30,399,368	36,225,024	2,929 8	19 9
(4) Southeast	12〃	1,582,350	2,207,936	2,992,408	3,915,797	5,153,799	6,368,879	8,043,767	9,654,801	10,431,832	13,665,644	16,092,600	19,032,929	22,006,896	24,324,057	27,280,103	30,163,803	33,789,279	38,754,215	2,910 0	19 8
(5) Plains	7〃	...	...	19,783	66,586	140,455	426,814	880,335	2,169,832	3,856,594	6,157,443	8,932,112	10,347,423	11,637,921	12,544,249	13,296,915	13,516,990	14,061,394	15,394,115	1,322 4	9 0
(6) Southwest	4〃	...	...	...	.....	.....	...	274,139	697,731	920,111	1,751,754	2,742,709	4,157,342	6,085,352	7,386,023	9,079,645	9,782,337	11,375,319	14,161,145	1,346 3	9 2
(7) Mountain	5〃	...	...	.....	....	...	...	11,380	74,550	171,362	430,848	918,055	1,314,081	2,019,987	2,564,182	2,751,841	3,008,677	3,484,141	4,316,498	424 2	2 9
(8) Far West	4〃	...	...	...	...	...	...	105,891	450,910	717,616	1,176,844	1,935,689	2,459,027	4,274,179	5,644,278	8,285,491	9,843,509	14,646,610	20,624,383	2,017 3	13 7

資 料 U. S. Department of Commerce, Bureau of the Census, *Historical Statistics of the United States, Colonial Times to 1957*, pp. 12–13 および *Continuation to 1962 and Revisions.*

(2) 地 域 人 口 構 成 比

(単位 %)

地域	構成州数	1790	1800	1810	1820	1830	1840	1850	1860	1870	1880	1890	1900	1910	1920	1930	1940	1950	1960
		%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
Conterminous U S.	48州, 1特別地区	100 0	100 0	100.0	100 0	100 0	100 0	100 0	100.0	100 0	100 0	100 0	100 0	100 0	100 0	100 0	100 0	100 0	100.0
(1) New England	6州	25 7	23.2	20 3	17.2	15 2	13 1	11.8	10 0	9.1	8 0	7 4	7 4	7 1	7 0	6 7	6 4	6.2	5.9
(2) Middle Atlantic	5州, 1特別地区	34 0	34 2	34 3	33 2	32 2	29.9	28 6	26 5	25 5	23.4	22 5	22.5	23 0	23 1	23 3	23 0	22 3	21 6
(3) Great Lakes	5州	..	1 0	3 8	8 3	11 4	17 1	19 5	22.0	23 7	22.3	21.4	21 0	19 8	20 3	20 6	20 2	20.2	20 3
(4) Southeast	12〃	40.3	41 6	41 3	40 6	40 1	37.3	34 7	30 7	27 1	27.3	25.6	25.0	23 9	23 0	22.2	22.9	22.4	21 7
(5) Plains	7〃	..	...	0 3	0 7	1 1	2.5	3 8	6 9	10 0	12 3	14.2	13.6	12 7	11 9	10.8	10 3	9 3	8 6
(6) Southwest	4〃	.....	.	..	.	.....	.....	1 2	2.2	2.4	3.5	4 4	5 5	6 6	7 0	7 4	7 4	7.6	7 9
(7) Mountain	5〃	..	.....	....	.....	.	..	0 0	0.2	0 4	0.9	1 5	1.7	2.2	2.4	2.2	2 3	2 3	2 4
(8) Far West	4〃	.....	..	.....	.....	.....	.....	0.5	1 4	1.9	2 3	3.1	3 2	4.7	5 3	6 8	7.5	9.7	11 6
Eastern Half 東部4地域 (1), (2), (3), (4)								94 5	89.2	85 3	81.0	76.9	75.9	73.9	73.4	72.8	72.5	71.1	69.5
Western Half 西部4地域 (5), (6), (7), (8)								5.5	10 8	14 7	19 0	23 1	24.1	26 1	26 6	27 2	27.5	28 9	30.5

加数は，第2表(1)にみられるとおりである。一番増えたのは，Middle Atlantic 地域の3014.6万人であり，一番少いのは Mountain 地域の424.2万人。順位は，大きい方から Middle Atlantic, Great Lakes, Southeast, Far West, Southwest, Plains, New England, Mountain の順である。

地域別人口の推移でみられる特徴は，第2図および第2表(3)，(4)から明らかであるように，(1)人口稠密地域たる東部3地域，Southeast, Middle Atlantic, および Great Lakes の3地域の人口は，安定的増加を遂げてきた。しかし，その増加率は，逓減的である。(2)西部4地域のうち，(a) Far West の人口は，1900年以降，急カーブを描いて——指数（複利）曲線的——増加しつづけている。(b) Plains 地域は1880年から1930年の50年間は急増するかにみえる足取りを示していたが，1930年以降，頭重的伸び悩みの状態にある。Southwest は安定的に，着実に，伸び続けている。(c) Mountain 地域の増加も著しい。

ちなみに，本土アメリカおよび8地域の，1860年以来の人口推移の傾向線（最小二乗法曲線）は次のとおりである。それぞれについて，いろいろな傾向線を求めてテストした結果，Far West 地域については指数曲線（複利曲線）が，他の8つについては2次曲線が最適であることがわかった。

0.	Conterminous U. S.	$P_0=30,441,287+9,296,070t+504,543t^2$
1.	New England	$P_1=2,910,055+638,079t+10,915t^2$
2.	Middle Atlantic	$P_2=7,655,863+2,141,160t+92,839t^2$
3.	Great Lakes	$P_3=7,239,843+1,691,871t+109,883t^2$
4.	Southeast	$P_4=9,269,940+1,975,945t+89,716t^2$
5.	Plains	$P_5=1,986,298+2,490,025t-121,781t^2$
6.	Southwest	$P_6=280,142+779,499t+57,624t^2$
7.	Mountain	$P_7=-100,876+343,896t+0.8442t^2$
8.	Far West	$P_8=541,126\times(1.4555)^t$

註 (1) P: 人口数，単位 人

(2) t: 1860年原点，10年単位．第2図参照

(3)　人口 P_i と年代 t との相関係数 r_i は，それぞれ

$r_0=0.99808$　$r_1=0.99623$　$r_2=0.99756$　$r_3=0.99745$

$r_4=0.99845$　$r_5=0.99489$　$r_6=0.99579$　$r_7=0.99255$

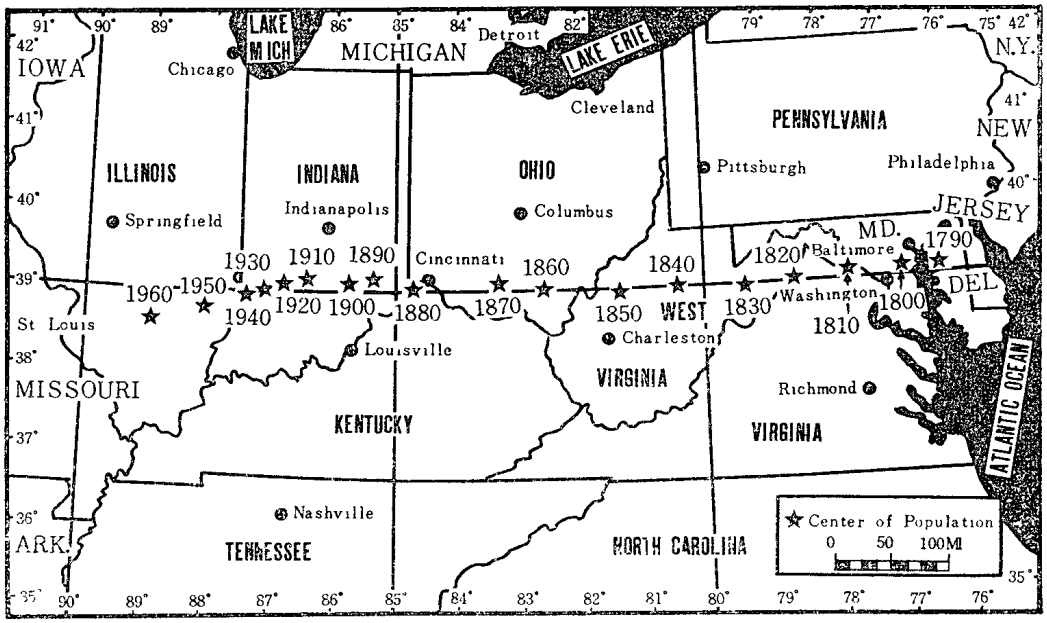
$r_8=0.99522$

地域別人口の構成比率は第2表(2)にみられる。1860年は Southeast (30.7%), Middle Atlantic (26.5%), Great Lakes (22.0%), New England (10.0%), Plains (6.9%), Southwest (2.2%), Far West (1.4%), および Mountain (0.2%) の順。1960年は Southeast (21.7%), Middle Atlantic (21.6%), Great Lakes (20.3%), Far West (11.6%), Plains (8.6%), Southwest (7.9%), New England (5.9%), Mountain (2.4%)の順であった。

地域別人口構成比率に関する特徴は，(1) New England の構成比率および相対的地位の継続的低下　と，(2) Far West の相対的地位の着実な向上，および　(3) Middle Atlantic, Great Lakes および Southeast

第3図　人口の重心

(1)　Center of Population for Conterminous U. S.:　1790 to 1960



Source: Dep't of Commerce, Bureau of the Census.
Statistical Abstract of the United States; 1965, p. 14.

(2) Center of Population: 1790 to 1960

Year	North latitude			West longitude			Approximate location
Conterminous U. S.[1]	°	′	″	°	′	″	
1790	39	16	30	76	11	12	23 miles east of Baltimore, Md.
1800	39	16	6	76	56	30	18 miles west of Baltimore, Md.
1810	39	11	30	77	37	12	40 miles northwest by west of Washington, D. C. (in Virginia).
1820	39	5	42	78	33	0	16 miles east of Moorefield, W. Va.[2]
1830	38	57	54	79	16	54	19 miles west-south west of Moorefield, W. Va.[2]
1840	39	2	0	80	18	0	16 miles south of Clarksburg, W. Va.[2]
1850	38	59	0	81	19	0	23 miles southeast of Parkersburg, W. Va.[2]
1860	39	0	24	82	48	48	20 miles south by east of Chillicothe, Ohio.
1870	39	12	0	83	35	42	48 miles east by north of Cincinnati, Ohio.
1880	39	4	8	84	39	40	8 miles west by south of Cincinnati, Ohio (in Kentucky).
1890	39	11	56	85	32	53	20 miles east of Columbus, Ind.
1900	39	9	36	85	48	54	6 miles southeast of Columbus, Ind.
1910	39	10	12	86	32	20	In the city of Bloomington, Ind.
1920	39	10	21	86	43	15	8 miles south-southeast of Spencer, Owen County, Ind.
1930	39	3	45	87	8	6	3 miles northeast of Linton, Greene County, Ind.
1940	38	56	54	87	22	35	2 miles southeast by east of Carlisle, Haddon township, Sullivan County, Ind.
1950	38	50	21	88	9	33	8 miles north-northwest of Olney, Richland County, Ill.
1960	38	37	57	88	52	23	4 miles east of Salem in Marion County, Ill.
United States[3]							
1950	38	48	15	88	22	8	About 3 miles northeast of Louisville, in Clay County, Ill.
1960	38	35	58	89	12	35	6½ milles northwest of Centralia, Ill., and approximately 50 miles east of East St. Louis, Ill.

1. Excludes Alaska and Hawaii.
2. West Virginia was set off from Virginia Dec. 31, 1862, and admitted as a State June 19, 1863.
3. Includes Alaska andHawaii.

Source: Dept. of Commerce, Bureau of the Census: U. *S. Census of Population: 1960*, Vol. I.

3地域は，構成比率は継続的に逓減して，1960年には20%～22%の間で上位順位を相競っている。

8地域をミシシッピー河で東西の2地方に大別して，人口構成比をみれば，西部の構成比は着実に増え続けていることがわかる。1860年の10.8%から1910年の26.1%へ，さらに1960年の30.5%へと躍進している。

かくて，8地域の人口は，いずれも，絶対的には連年増加してきた。しかし，相対的には西部4地域の躍進は著しく，ために，東部4地域の相対的位置は低下しつづけている。

すなわち，人口は依然として西漸運動を続けており，人口重心(center of population gravity)は，第3図(1)および(2)にみられるように，北緯39度線を回帰線として，西へ西へと動いてきた。1790年のBaltimoreの東23マイルから1860年のChillicothe, Ohioへ，1910年にはBloomington, Ind.に，そして1960年にはさらに西に移ってIllinois州のSalemに至り達している。ゆえに，この170年間に12°41′11″，1860年以来の100年間には6°03′35″西に移動したことになる。この傾向は今後も続くであろう。

(2)　地域人口の相対的増加量

第2表(3)および(4)は地域人口の増加率を示す表である。

第2表(3)は1860年を基準年次とする固定基準法指数であり，(4)は毎10年間の対前期増加率である。

A．固定基準法指数

まず，第2表(3)固定基準法指数表について。Conterminous U. S.の1960年の指数は570.2。東部4地域はいずれもこの全国平均指数に及ばず，それらの指数はGreat Lakes地域の522.9からNew Englandの335.2の間にある。これに反し，西部4地域はいずれも全国平均を大きく上廻わり，最低でもPlainsの709.4，最高はMountainの5789.1の高きに達している。かくて，指数順位は，地域人口の絶対増加数のときとは，全く逆に，大きい方からMountain, Far West, South-

第2表 (3) 固 定 基 準 法 指 数（1860年＝100）

地域＼年代	1790	1800	1810	1820	1830	1840	1850	1860	1870	1880	1890	1900	1910	1920	1930	1940	1950	1960	指数 全国平均＝100
Conterminous U. S.	12.5	16.9	23.0	30.7	40.9	54.3	73.8	100.0	122.6	159.5	200.2	241.7	292.5	336.2	390.4	418.7	479.2	570.2	100.0
(1) New England	32.2	39.3	46.9	52.9	62.3	71.2	87.0	100.0	111.2	127.9	149.9	178.4	209.0	236.1	260.5	269.1	297.1	335.2	58.8
(2) Middle Atlantic	16.0	21.8	29.8	38.4	49.7	61.3	79.5	100.0	118.2	141.1	169.8	205.3	253.7	292.5	343.4	363.5	403.5	461.7	81.0
(3) Great Lakes	……	0.7	3.9	11.4	21.2	42.2	65.3	100.0	131.7	161.8	194.6	230.8	263.5	310.0	365.2	384.4	438.8	522.9	91.7
(4) Southeast	16.4	22.9	31.0	40.6	53.4	66.0	83.3	100.0	108.1	141.5	166.7	197.1	227.9	251.9	282.6	312.4	350.0	401.4	70.4
(5) Plains	……	……	0.9	3.1	6.5	19.7	40.6	100.0	177.7	283.8	411.6	476.9	536.3	578.1	612.8	622.9	648.0	709.4	124.4
(6) Southwest	……	……	……	……	……	……	39.3	100.0	131.9	251.1	393.1	595.8	872.2	1058.6	1301.3	1402.0	1631.2	2029.3	355.9
(7) Mountain	……	……	……	……	……	……	15.3	100.0	229.8	577.8	1231.1	1762.2	2708.8	3438.6	3690.2	4034.6	4672.2	5789.1	1015.3
(8) Far West	……	……	……	……	……	……	23.5	100.0	159.1	261.0	429.3	545.3	947.9	1251.7	1837.5	2183.0	3248.4	4573.8	802.1

註 第2表(1)より作成。

第2表 (4) 10 年 間 人 口 増 加 率（単位 %）

地域＼年代	1790～1800	1800～1810	1810～1820	1820～1830	1830～1840	1840～1850	1850～1860	1860～1870	1870～1880	1880～1890	1890～1900	1900～1910	1910～1920	1920～1930	1930～1940	1940～1950	1950～1960	10年間平均増加率	年平均増加率
Conterminous U. S.	35.1	36.4	33.1	33.4	32.7	35.9	35.6	22.6	30.1	25.5	20.7	21.0	11.5	11.6	10.7	14.4	18.4	19.02	1.76
(1) New England	22.2	19.4	12.8	17.7	14.3	22.1	14.9	11.2	15.0	17.2	19.0	17.2	12.9	10.3	3.3	10.4	12.8	12.86	1.22
(2) Middle Atlantic	35.8	36.7	29.0	29.3	23.3	29.7	25.8	18.2	19.4	20.3	20.9	23.6	15.3	17.4	5.8	11.0	14.4	16.53	1.49
(3) Great Lakes	……	433.9	191.1	85.4	99.0	54.7	53.1	31.7	22.8	20.3	18.6	14.2	17.7	17.8	5.3	14.2	19.2	18.00	1.67
(4) Southeast	39.5	35.5	30.9	31.6	23.6	26.3	20.0	8.0	31.0	17.8	18.3	15.6	10.5	12.2	10.5	12.0	14.7	14.91	1.40
(5) Plains	……	……	236.6	110.9	203.9	106.3	146.5	77.7	59.7	45.1	15.8	12.5	7.8	6.0	1.7	4.0	9.5	21.65	1.98
(6) Southwest	……	……	……	……	……	……	154.5	31.9	90.4	56.6	51.6	46.4	21.4	22.9	7.7	16.3	24.5	35.12	3.05
(7) Mountain	……	……	……	……	……	……	555.1	129.9	151.4	113.1	43.1	53.7	26.9	7.3	9.3	15.8	23.9	50.06	4.16
(8) Far West	……	……	……	……	……	……	325.8	59.1	64.0	64.5	27.0	73.8	32.1	46.8	18.8	48.8	40.8	46.57	3.89

註 (1) 第2表(1)より作成。

(2) 10年間平均増加率，年平均増加率は1860年～1960年の 100 年間についての年平均増加率。

west, Plains, (Conterminous U. S.), Great Lakes, Middle Atlantic, Southeast, New England の順である。

かくて，1860年から1960年にいたる1世紀の間に，西部4地域たる Mountain 地域の人口は約58倍，Far west 地域は約46倍，Southwest 地域は約20倍，最も倍率の小さい Plains 地域でさえ約7倍に増えている。これは，いずれも全国平均5.7倍を凌駕する倍率である。東部4地域は，Great Lakes 地域5.2倍，Middle Atlantic 地域4.6倍，Southeast 地域4.0倍，New England 地域3.4倍と，いずれも全国平均に及ばない。

東部4地域については，1860年以前についても，遡及的に指数を求めることが出来る。第2表(3)について明らかであるように，1790年から1860年の70年間では，Great Lakes 地域の伸びが最も著しく，つづいては Middle Atlantic, Southeast, New England の順。

Great Lakes 地域は，エリー西北畔のバファロー (Buffalo) からハドソン河中流のオルバニー (Albany) まで364マイルに及ぶエリー運河が開通した（1825年）結果，眠れる沃土は急テンポで開発されるようになった。このことは，運河につづく鉄道の開通によって，さらに拍車をかけられる。交通の発達が地域を開発した一典型である。

エリー運河開通の効果（小麦輸送）
Buffalo → New York City.

	運　賃	所要日数
開通前	100ドル/トン	20日
開通後	5ドル/トン	6日

エリー運河およびこれにつづく東西を結ぶエリー鉄道の開通の効果は測り知れぬものがあった。たとえば，Buffalo と New York City 間の運賃はエリー運河の開通前，陸路・水路併用ルートで小麦1トン当り100ドルであったが，開通後は5ドルに激減している。ちなみに，開通前，ニュー・ヨーク市における小麦価格はトン当り30〜35ドル。また Buffalo — New York City の所要日数は20日から6日に縮まった。(2)

(2) E. L. Bogart and D. L. Kemmerer. *Economic History of the American People*, 1953, p. 278.

かくてエリー運河の開通によって貨物・旅行の輸送が迅速・安価・大量かつより快適安全となり，ために，アパラチヤ山脈を越える西行主ルートは，それまでのカンバーランド (Cumberland) 道 —National Pike— からエリー運河に移った。その結果，移民はエリー運河を通って，いわゆる Old Northwest — Great Lakes 地域—に流入し，この地域を開発した。Great Lakes 地域の人口が急増した所以である。

ついでに，地域的産業経済についていえば，このエリー運河，および少しおくれてエリー鉄道が開通した結果，アメリカの産業経済に地域的・社会的分業が触発され深化した。すなわち，産業経済の多様化である。それまでのアメリカは地域的にも社会的にも未分化状態の・半径20マイル位の自給自足的小コミュニティー (community) であった。地域的にも社会的にも，〝何でも屋 Jack-of-all-traders〟であった。

ところがエリー運河および鉄道の開通によって，アメリカの産業・経済に大変革がもたらされた。すなわち(1) New England, Middle Atlantic 地域では，綿業・造船・家具・馬具・農器具 etc. の工業が勃興し，特化する。他方，農業では，穀物農業は，運賃が安くなった結果，比較生産費説的理由によって Great Lakes 地域の穀物に太刀打できず衰退したが，蔬菜・花卉・果樹 etc. のいわゆる trucking（市場向け野菜栽培業）や酪乳業が盛んになる。衰退と変質。地域的・社会的分業に基づく，商業の発展。ロチェスター (Rochester), シラキュース (Cyracuse), ユテカ (Utica) の諸都市の出現と New York 市の飛躍的成長。他方，(2)土人と野牛 (buffalo) の天地であった五大湖地域は，東西交通路（エリー運河・エリー鉄道）の開通の結果，にわかに商品農業と牧畜業が発達し，アメリカ東海岸住民のみならずヨーロッパの食糧供給地となった。そして(3)南部は綿花と煙草の栽培に特化する。かくて，Great Lakes 地域には人口が流入し，シカゴ (Chicago), バッファロー (Buffalo), デトロイト (Detroit), シンシナティ

(Cincinnati) etc. の都市が忽然として出現し，発展することになる。[3]

1820年から1880年頃までの Great Lakes 地域の発展——地域開発，人口増加——それは，丁度，今日の Far West 地域や Southwest 地域のそれに似ている。しかし，今世紀に入ってからは，そこには，もはや往年の若々しい息吹はみられず，太西洋沿岸2地域，すなわち，Middle Atlantic, Southeast 両地域と全く同じように，絶対的には高い人口水準を維持し高い増加数を示しているが，相対的には伸び悩みの状態にある。今日では Great Lakes 地域も他の東部3地域とともにいわば老化的地域であり，どちらかといえば〝高原横這〟の状態にある。

B．増　加　率

第2表(4)は地域人口の増加率（成長率）を示す。いうまでもないが，これは増加率 ${}_{i}\rho_{t}$

$$ {}_{i}\rho_{t}=\frac{{}_{i}P_{t+10}-{}_{i}P_{t}}{{}_{i}P_{t}}\times 100 $$

であるから，かの連環指数 ${}_{i}I_{t}$

$$ {}_{i}I_{t}=\frac{{}_{i}P_{t+10}}{{}_{i}P_{t}}\times 100 $$

とは異なる。

第4図は第2表(4)の半対数グラフであり，人口増加率を示す図表である。

まず，本土米国 (Conterminous U. S.) の，1860年から1960年にいたる100年間の年平均増加率は1.76%。10年間平均増加率は19.02%。

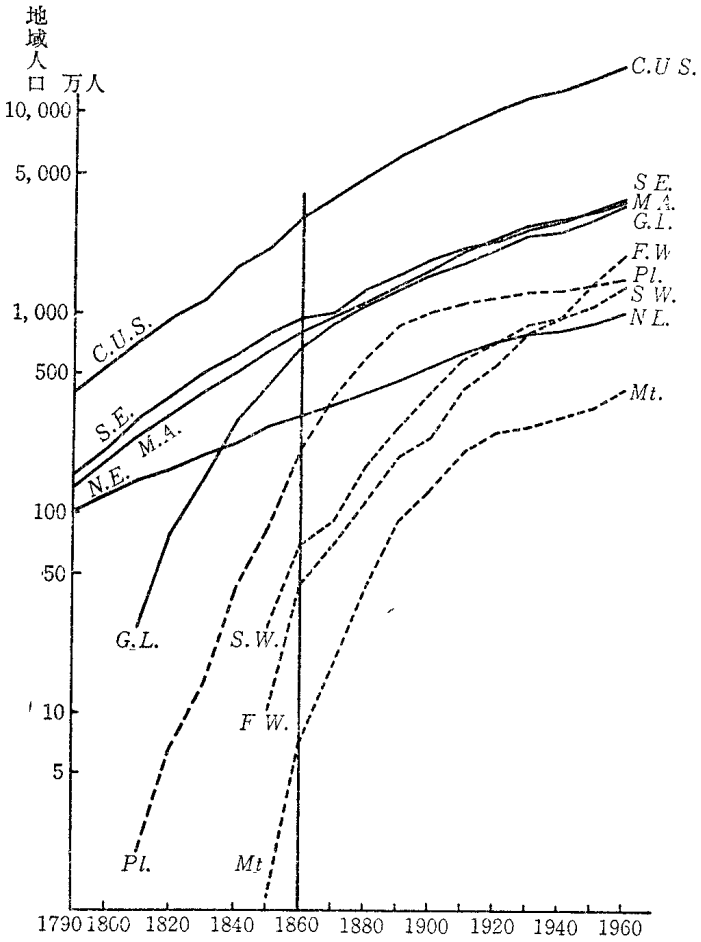
これに対し，西部4地域の人口増加率は，いずれも，全国平均を上廻っている。最も増加率の高いのは Mountain 地域の年平均増加率4.16%（10年間平均増加率 50.06%。以下，カッコ内は10年間平均増加率），Far West 3.89%（46.57%），Southwest 3.05%（35.12%），Plains 1.98%（21.65%）。

（3） E. L. Bogart and D. L. Kemmerer, *op. cit.*, pp. 278～9, pp. 290–294, pp. 295–300,

これに反し，ミシシッピー河以東の東部4地域は，ことごとく，全国平均に及ばない。最も大きい増加率を示している Great Lakes 地域でさえ，年率1.67%（18.00%）にすぎず，以下，Middle Atlantic 地域1.49%（16.53%），Southeast 1.40%（14.91%），そして，New England のごときは年増加率1.22%（12.86%）の低率である。

こうした，西部4地域の（傾向的）高度増加率，東部4地域の低い増加率は，第4図の各曲線の勾配を一見しても明らかである。

第4図　地域人口の増加率（1790～1960）
（実線……東部4地域
点線……西部4地域）



また，第4図について気付くことは，西部4地域はいずれも全国平均を上廻わり，東部4地域はすべて全国平均に及ばない，という地方的特徴をもってはいるが，そういう共通点をもちながらも，各地域の人口増加曲線の足取りは一様ではなく，違ったカーブを描いていることである。

地域の自然的・社会的・経済的・政治的諸条件が異なるのであるから，違った人口増加曲線を辿ることは当然であろう。しかし8地域のことごとくが，全く違ったカーブを描いているわけではなく，相似たものがある。たとえ

ば Southeast と Middle Atlantic, Plains と Mountain, Great Lakes と Southwest のそれぞれ 2 地域が，殆んど平行移動的増加線をもっている。すなわち，人口数の水準や増加絶対数は相異っているが，増加率（相対的増加量）は殆んど相等しい。Great Lakes と Southwest の両地域は隣接地域ではないから，やや事情は異なるが，他の 2 つのセット，すなわち，Middle Atlantic と Southeast, および Plains と Mountain のそれぞれ 2 地域は隣接地域であり，入植の歴史や自然的諸条件および社会的諸条件が酷似している。平行移動的カーブを描いてきたのも，けだし，当然のことであろう。

ところが，New England と Far West は，それぞれ，独自の軌跡を示している。しかも，両者は全く対蹠的である。前者の増加率は殆んど安定的であり，したがって，半対数グラフでは直線的な増加線となっている。かつ，New England 地域は，老化停滞的地域であるので，人口増加率は低く，増加線の勾配は小さい。これに反し，Far West の増加率は顕著であり，他に類例がない。西部 4 地域のうち，Plains 地域が1890年，Mountain 地域が1910年を境に伸び悩みの状態にあり，Southwest がやや Far West に追従しているのみである。

以上は，ここ 100 年間の全期間についての概要である。しかし，部分期間については，それぞれ違ったニュアンスをもっている。

まず，Middle Atlantic, Southeast, および New England の東部 3 地域は，この 100 年間の全期間を通じて，安定的増加率を示している。

Great Lakes 地域は，1810年から1880年にいたる70年間の伸びは目ざましかったが，以後はやや頭打ちの状態になり，他の東部 3 地域と同じ老化地域的足取りを示している。

Plains 地域は1890年までの伸び率は著しかったが，以後，伸び悩みの状態にある。1890年から1950年にいたる60年間は，8 地域中最低の増加率であった。

Southwest 地域は，1940年までは人口数においては Far West 地域

よりも大きく，1900年頃まではその増加率も高かったが，それ以降は Far West に追越されている。しかし，その増勢は今日でも Far West について第2位にある。

Mountain 地域は，人口の絶対数においては，8地域中，一貫して最低である。しかし，増加率は全期を通じて8地域中，第1位にある。とくに，1910年までの伸び率は著しい。それ以後は，やや頭打ちの状態にあるが，それでも，大体，2，3位のところにある。

アメリカ空前の大不況期，すなわち，1930年～1940年の10年間は，Mountain 地域を除く全地域で，人口の増加率が著しく低下し，中ダルミ現象を呈している。全国平均で10.7%の増加率。これはこの1世紀を通じて最低であり，平均増加率19.02%の約半分にあたる。地域的には Far West 地域の18.8%が最大値であり，Plains 地域の1.7%が最低値。Mountain 地域でも，傾向的にはその例に洩れない。すなわち，この地域は，すでに前期に26.9%から7.3%に大きく落込んでおり，1930年代には9.3%とやや持直してはいるものの，中ダルミ傾向は他の全地域のそれと変らない。

以上が本土米国 (C.U.S.) の全人口についての地域的研究である。

Ⅲ　人種別地域人口の構造と推移

周知のように，アメリカは一民族国家ではなく，多人種国家である。1960年現在，総人口1億7846万4236人（ただし，Conterminous U. S.）のうち，白人（種）人口1億5845万4956人（構成比88.8%），黒人 (Negro. 以下同じ) 人口1886万0117人（10.6%），その他114万9163人（0.6%）。ここに〝その他〟とはアメリカ・インディアン50万8675人（0.285%），日本人26万0049人（0.146%），中国人19万8958人（0.111%），フィリッピン人10万6426人（0.060%），および，インド人・朝鮮人・ポリネシヤ人・インドネシヤ人・ハワイ人・アリューシャン人・エスキモー etc. が7万5045人（0.042%）。(*Statistical Abstract of*

the United States, 1965, pp. 25–6),

かくて，アメリカはその人口構成において均質ではなく，きわめて heterogeneous である。そこには，いわゆる人種問題の惹起する可能性があり，また現に人種問題（黒人問題）に苦悩している。黒人問題はアメリカの抱かえる最大の難問となっている。

政府・裁判所その他関係者の努力によって ——たとえば公民権法や差別教育禁止の判決など——黒人の地位も漸次向上してきている。その結果，今日では，南部でも駅・乗物・便所・食堂その他の公共性のある諸施設において，黒人に対する場所的差別は，もはや存在しない。しかし，それらの諸施設の中に，人種・国籍・宗教・思想・経歴その他の理由によって差別待遇をしてはならないこと，もし，そういう差別待遇の事実があれば，直ちに，I. C. C. (Interstate Commerce Commission 州際商業委員会）に報告・提訴するように，との掲示があるところをみれば，こうした差別は根絶されたのではなく，いわば潜在化しているとも考えられる。

事実上，黒人は，職業・所得・住居・教育・社会活動・政治 etc. の諸面において，恵まれない境遇にある。たとえば，職業についていえば，黒人の職業は，主に，官公庁の下級職員——郵便局などの窓口業務者・郵便配達夫・消防士・清掃夫・軍人・警官 etc.—— や民間の清掃夫・各種の運転手・道路工夫・商店員・製造業などの不熟練工などである。黒人は高級官公吏や民間企業の管理職には，殆んど，就いていない。また，南部には公然と人種差別主義を標榜している知事・各種の議員も多い。すなわち，社会生活一般にわたって，いわば人種的な二重構造的な・異質的な生活環境がある。

如上の事情によって，アメリカの人口問題についての研究では，人種的分析——具体的には黒人人口に関する研究——が必須であると思う。そこで，以下において，〝人種別地域人口の推移と構造〟について研究してみたい。

1. 人種別地域人口の推移

1920年から1960年にいたる40年間の人種別地域人口の推移は第3表(1)のとおりであり，1920年を基準年次とする固定基準法指数は第3表(2)のとおりである。また第4表はこの40年間の地域人口の人種別増加数，地域的構成比，および特化係数である。

まず，第4表(1)から明らかであるように，この40年間に，本土米国(C. U. S.) の人口は7275万人余増加している。そのうち，人種的には，6363万人（構成比87.5%）は白人 (White) 人種，840万人（弱)(11.5%）は黒人 (Negro) 人種，そして残余〝Others〟の72万人（1.0%)。ついでながら，地域的には，New England 311万人（4.3%)，Middle Atlantic 1411万人(19.4%)，Great Lakes 1475万人(20.3%)，Southeast 1443万人（19.8%)，Plains 285万人（3.9%)，Southwest 678万人（9.3%)，Mountain 175万人（2.4%)，そして，Far West 1498万人（20.6%)。ゆえに，Far West, Great Lakes, Southeast および Middle Atlantic の4地域の増加数は，断然，他の4地域を引き離して大きい。これに反し，Mountain, Plains, および New England の3地域は少い。678万人（9.3%）の Southwest は両者の中間に位置する。

ミシシッピー河以東 (Eastern Half) は4640万人（63.8%)，ミシシッピー河以西 (Western Half) は2636万人（36.2%)。

これらの構成比と，第2表(2)地域人口構成比を比較すれば，西部，とくに，Far West 地域の人口増加の著しさが明らかである。

(1) 人種別地域人口の増加数

次に人種別地域人口の推移について研究しよう。

まず，白人種の増加数は6363万人。大きい方から順に，(ここでもまた) Far West 1378万人（21.7%)，Southeast 1302万人（20.5%)，Great Lakes 1231万人（19.4%)，Middle Atlantic 1122万人（17.6%）の4地域が圧倒的に大きい。これに反し，Mountain 170万人

第3表 (1) 人種別地域人口の推移　　(単位 人)　　(2) 人種別地域人口指数　　($P_{1920}=100$)

地域	1920	1930	1940	1950	1960	1920	1930	1940	1950	1960	1960年指数特化係数
	人	人	人	人	人						
Conterminous U. S.	105, 710, 620	122, 775, 046	131, 669, 275	150, 697, 361	178, 464, 236	100. 0	116. 1	124. 6	142. 6	168. 8	1. 000
White	94, 820, 915	110, 286, 740	118, 214, 870	134, 942, 028	158, 454, 956	100. 0	117. 4	125. 9	143. 7	168. 8	1. 000
Negro	10, 463, 131	11, 891, 143	12, 865, 518	15, 042, 286	18, 860, 117	100. 0	113. 6	123. 0	143. 8	180. 3	1. 000
Others	426, 574	597, 163	588, 887	713, 047	1, 149, 163	100. 0	140. 0	138. 0	167. 2	269. 4	1. 000
(1) New England	7, 400, 909	8, 166, 341	8, 437, 290	9, 314, 453	10, 509, 367	100. 0	110. 3	114. 0	125. 8	142. 0	0. 841
White	7, 316, 079	8, 065, 220	8, 329, 146	9, 161, 156	10, 242, 389	100. 0	110. 2	113. 8	125. 2	140. 0	0. 829
Negro	79, 051	94, 086	101, 509	142, 941	243, 363	100. 0	119. 0	128. 4	180. 8	307. 9	1. 708
Others	5, 779	7, 035	6, 635	10, 356	23, 615	100. 0	121. 7	114. 8	179. 2	408. 6	1. 517
(2) Middle Atlantic	24, 371, 379	28, 617, 525	30, 290, 327	33, 626, 797	38, 479, 389	100. 0	117. 4	124. 3	138. 0	157. 9	0. 935
White	23, 366, 052	27, 092, 786	28, 460, 957	30, 984, 246	34, 583, 587	100. 0	116. 0	121. 8	132. 6	148. 0	0. 877
Negro	984, 963	1, 493, 948	1, 793, 439	2, 585, 614	3, 775, 971	100. 0	151. 7	182. 1	262. 5	383. 4	2. 126
Others	20, 364	30, 791	35, 931	56, 937	119, 831	100. 0	151. 2	176. 4	279. 6	588. 4	2. 184
(3) Great Lakes	21, 475, 543	25, 297, 185	26, 626, 342	30, 399, 368	36, 225, 024	100. 0	171. 8	124. 0	141. 5	168. 7	0. 999
White	20, 938, 862	24, 335, 980	25, 528, 451	28, 543, 307	33, 253, 272	100. 0	116. 2	121. 9	136. 3	158. 8	0. 941
Negro	514, 554	930, 450	1, 069, 326	1, 803, 698	2, 884, 969	100. 0	180. 8	207. 8	350. 5	560. 7	3. 110
Others	22, 127	30, 755	28, 565	52, 363	86, 783	100. 0	139. 0	129. 1	236. 6	392. 2	1. 456
(4) Southeast	24, 324, 057	27, 280, 103	30, 163, 803	33, 789, 279	38, 754, 215	100. 0	112. 2	124. 0	139. 0	159. 4	0. 944
White	16, 668, 643	19, 360, 094	21, 843, 470	25, 343, 751	29, 690, 396	100. 0	116. 2	131. 0	152. 1	178. 1	1. 055
Negro	7, 636, 349	7, 893, 366	8, 286, 306	8, 392, 073	8, 980, 563	100. 0	103. 4	108. 5	109. 9	117. 6	0. 652
Others	19, 065	26, 643	34, 027	53, 455	83, 256	100. 0	139. 7	178. 5	280. 4	436. 7	1. 621
(5) Plains	12, 544, 249	13, 296, 915	13, 516, 990	14, 061, 394	15, 394, 115	100. 0	106. 0	107. 8	112. 1	122. 7	0. 727
White	12, 225, 387	12, 913, 292	13, 111, 519	13, 576, 077	14, 749, 345	100. 0	105. 6	107. 3	111. 1	120. 6	0. 715
Negro	278, 521	331, 784	350, 992	424, 178	561, 068	100. 0	119. 1	126. 1	152. 3	201. 4	1. 117
Others	40, 341	51, 839	54, 479	61, 139	83, 702	100. 0	128. 5	135. 0	151. 6	207. 5	0. 770
(6) Southwest	7, 386, 023	9, 079, 645	9, 782, 337	11, 375, 319	14, 161, 145	100. 0	122. 9	132. 4	154. 0	191. 7	1. 136
White	6, 365, 481	7, 867, 596	8, 510, 877	10, 043, 782	12, 528, 011	100. 0	123. 6	133. 7	157. 8	196. 8	1. 166
Negro	904, 840	1, 040, 761	1, 112, 905	1, 157, 343	1, 400, 675	100. 0	115. 0	123. 0	127. 9	154. 8	0. 859
Others	115, 702	171, 288	158, 555	174, 194	232, 459	100. 0	148. 0	137. 0	150. 5	200. 9	0. 746
(7) Mountain	2, 564, 182	2, 751, 841	3, 008, 677	3, 484, 141	4, 316, 598	100. 0	107. 3	117. 3	135. 9	168. 4	0. 998
White	2, 516, 078	2, 698, 739	2, 955, 779	3, 411, 004	4, 205, 571	100. 0	107. 3	117. 5	135. 6	167. 1	0. 990
Negro	16, 717	16, 110	16, 082	27, 745	49, 292	100. 0	96. 4	96. 2	166. 0	294. 0	1. 631
Others	31, 387	36, 992	36, 816	45, 392	61, 735	100. 0	117. 9	117. 3	144. 6	196. 7	0. 730
(8) Far West	5, 644, 278	8, 285, 491	9, 843, 509	14, 646, 610	20, 624, 383	100. 0	148. 3	176. 1	262. 1	369. 0	2. 186
White	5, 424, 333	7, 953, 033	9, 474, 671	13, 878, 705	19, 202, 385	100. 0	146. 6	174. 7	255. 9	354. 0	2. 097
Negro	48, 136	90, 638	134, 959	508, 694	964, 216	100. 0	188. 3	280. 4	1056. 8	2003. 1	11. 110
Others	171, 809	241, 820	233, 879	259, 211	457, 782	100. 0	140. 7	136. 1	150. 9	266. 4	0. 989
(1) Eastern Half	77, 571, 888	89, 361, 154	95, 517, 762	107, 129, 897	123, 967, 995	100. 0	115. 2	123. 1	138. 1	159. 8	0. 947
White	68, 289, 636	78, 854, 080	84, 162, 024	94, 032, 460	107, 769, 644	100. 0	115. 5	123. 2	137. 7	157. 8	0. 935
Negro	9, 214, 917	10, 411, 850	11, 250, 580	12, 924, 326	15, 884, 866	100. 0	113. 0	122. 1	140. 2	172. 4	0. 956
Others	67, 335	95, 224	105, 158	173, 111	313, 485	100. 0	141. 4	156. 2	257. 1	465. 6	1. 728
(2) Western Half	28, 138, 732	33, 413, 892	36, 151, 513	43, 567, 464	54, 496, 241	100. 0	118. 7	128. 5	154. 8	193. 7	1. 148
White	26, 531, 279	31, 432, 660	34, 052, 846	40, 909, 568	50, 685, 312	100. 0	118. 5	128. 4	154. 2	191. 0	1. 132
Negro	1, 248, 214	1, 479, 293	1, 614, 938	2, 117, 960	2, 975, 251	100. 0	118. 5	129. 4	169. 7	238. 4	1. 322
Others	359, 239	501, 939	483, 729	539, 936	835, 678	100. 0	139. 7	134. 7	150. 3	232. 6	0. 863

(註) U. S. Department of Commerce, Bureau of the Census, *Statistical Abstract of the United States*, 1948, p. 20 および *Ibid.*, 1965, p. 26 より作成。

第3表 (3) 人種別地域人口構成比 (単位 %)

合計 (Total) (再掲, 第(2)表(2))

地域	1920	1930	1940	1950	1960
(0) C. U. S.	100.0 %	100.0 %	100.0 %	100.0 %	100 0 %
(1) New England	7.0	6.7	6.4	6.2	5.9
(2) Middle Atlantic	23.1	23.3	23 0	22.3	21.6
(3) Great Lakes	20.3	20.6	20 2	20.2	20.3
(4) Southeast	23.0	22.2	22.9	22.4	21.7
(5) Plains	11.9	10.8	10 3	9.3	8.6
(6) Southwest	7.0	7.4	7.4	7.6	7.9
(7) Mountain	2.4	2.2	2.3	2.3	2.4
(8) Far West	5 3	6.8	7.5	9.7	11.6
(A) East Half	73.4	72.8	72.5	71.1	69 5
(B) West Half	26.6	27.2	27 5	28.9	30.5

黒人 (Negro)

1920	1930	1940	1950	1960
100 0 %	100.0 %	100.0 %	100.0 %	100 0 %
0.8	0.8	0 8	1.0	1.3
9.4	12.6	14.0	17.2	20.0
4.9	7 8	8.3	12.0	15.3
73 0	66.4	64.4	55.8	47 6
2 7	2 8	2.7	2.8	3.0
8.6	8.8	8.7	7.7	7.4
0.2	0 1	0 1	0.2	0.3
0.5	0.8	1.0	3 4	5.2
88.1	87.6	87.5	85 9	84.2
11 9	12.4	12.5	14 1	15.8

白人 (White)

地域	1920	1930	1940	1950	1960
(0) C. U. S.	100 0 %	100.0 %	100.0 %	100 0 %	100.0 %
(1) New England	7 7	7.3	7 0	6.8	6.5
(2) Middle Atlantic	24.6	24 6	24.1	23.0	21.8
(3) Great Lakes	22.1	22.1	21.6	21.2	21.0
(4) Southeast	17.6	17.6	18.4	18.8	18.7
(5) Plains	12.9	11.7	11.1	10.1	9 3
(6) Southwest	6.7	7.1	7.2	7.4	7.9
(7) Mountain	2 7	2.4	2.5	2.5	2.7
(8) Far West	5.7	7 2	8.0	10.3	12.1
(A) Eastern Half	72.0	71.5	71.2	69.7	68.0
(B) Western Half	28.0	28.5	28 8	30 3	32.0

その他 (Others)

1920	1930	1940	1950	1960
100 0 %	100.0 %	100.0 %	100.0 %	100.0 %
1.4	1.2	1.1	1.5	2.1
4.8	5.2	6.1	8.0	10 4
5.2	5 2	4.9	7.3	7.6
4.5	4.5	5.8	7.5	7.2
9.5	8.7	9.3	8 6	7.3
27.1	28.7	26.9	24.4	20.2
7.4	6.2	6.3	6 4	5.4
40.3	40.5	39.7	36.4	39 8
15.8	15.9	17.9	24.3	27.3
84.2	84.1	82.1	75 7	72 7

第3表(1)より作成。

第3表 (4) 人種別地域人口特化係数

白人 (White)

地域	1920	1930	1940	1950	1960
(0) C. U. S.	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000
(1) New England	1.101	1.099	1.100	1.098	1.097
(2) Middle Atlantic	1.068	1.053	1.047	1 029	1.012
(3) Great Lakes	1.086	1 071	1.067	1.048	1.034
(4) Southeast	0.763	0.790	0.807	0 838	0 863
(5) Plains	1.086	1.081	1.081	1.078	1.079
(6) Southwest	0.960	0.965	0.969	0.986	0.996
(7) Mountain	1.093	1.091	1.094	1.093	1.097
(8) Far West	1.071	1 068	1.072	1 058	1.048
(A) Eastern Half	0.981	0 982	0.982	0 980	0 979
(B) Western Half	1.051	1.047	1.049	1.049	1.048

黒人 (Negro)

1920	1930	1940	1950	1960
1.000	1.000	1.000	1.000	1.000
1.079	0.119	0.123	0.154	0 219
0.408	0.539	0.606	0.770	0.929
0 242	0.380	0.411	0.594	0.754
3.172	2.987	2.811	2.488	2.193
0.224	0.258	0 266	0 302	0.345
1.238	1.184	1.164	1.019	0.936
0.066	0.060	0.055	0.080	0.108
0.086	0.113	0.140	0.348	0 448
1.200	1.203	1.205	1 209	1.212
0.448	0 457	0.457	0 487	0.517

その他 (Others)

地域	1920	1930	1940	1950	1960
(0) C. U. S.	1.000	1.000	1 000	1.000	1.000
(1) New England	0.194	0.177	0.176	0.235	0.349
(2) Middle Atlantic	0.207	0.221	0.265	0.358	0.484
(3) Great Lakes	0.255	0.250	0 240	0.364	0.370
(4) Southeast	0.194	0 201	0.251	0.334	0.334
(5) Plains	0.797	0.801	0.901	0.919	0 844
(6) Southwest	3.882	3.879	3.624	3.236	2.549
(7) Mountain	3.033	2.764	2.736	2.753	2.221
(8) Far West	7.543	6.001	5.312	3.740	3.447
(A) Eestern Half	0.215	0.219	0.246	0.341	0.393
(B) Western Half	3.164	3.088	2 991	2.619	2.381

(2.7%), Plains 252万人 (4.0%), および New England 293万人 (4.6%) が小さい。Southwest は両者の中間にあり616万人 (9.7%)。Eastern Half は3948万人 (62.0%), Western Half は2415万人 (38.0%)。

特化係数で標準1を超えるもの——増加数構成比率が全国平均87.5%を超過するもの——は大きい方から順に Mountain 1.102 New England 1.076, Far West 1.052, Southwest 1.040, Southeast 1.032, および Plains 1.013。そして, Western Half は 1.048。いずれも, 白人種人口の増加数が相対的に大きかった地域である。特化係数1未満は, Middle Atlantic 0.909 と Great Lakes 0.955。これすなわち増加数構成率が全国平均87.5%に及ばなかった地域である。

注目すべきは, 黒人 (Negro) 人口の推移動向であろう。この40年間の黒人の人口増加数は840万。そのうち, 279万人 (33.2%) は Middle Atlantic 地域で, 237万人 (28.2%) は Great Lakes 地域で増加している。南部は, 黒人=南部 とセット的に連想されるが, 予想に反し, わずかに134万人 (16.0%) しか増えていない。Southeast の黒人人口の地域構成比が1920年73.0%から1960年47.6%に落ちこんでいるのも, こうした相対的減少の結果であろう。この地域の黒人人口は絶対的には, 断然他の地域に抜ん出ているが, その伸び率は大きくない。他の地域への移住があると考えられる。黒人は Middle Atlantic と Great Lakes 両地域に北上転移しつつある。Middle Atlantic や Great Lakes では黒人は New York, Philadelphia, Washington D. C., Baltimore, Chicago の大都市に, しかも特定の地区に密集して住んでいる。首都 Washington のごときは市民の53.9%が黒人である (1960年)。

黒人の増加数の少いのは, Mountain 32,575人 (0.4%) と New England 164,312人 (2.0%)。この両地域は, 一寸旅行しただけでも, たしかに黒人が少いことが実感できる黒人稀薄地帯である。

さて, 黒人特化係数が標準1よりも大きい地域は, Middle Atlantic

第4表 (1) 1920年～1960年 人種別地域人口の増加数とその構成比 (単位 人，%)

地域	Total		White		Negro		Others	
	増加数	構成比	増加数	構成比	増加数	構成比	増加数	構成比
	人	%	人	%	人	%	人	%
C. U. S.	72,753,616	100.0	63,634,041	100.0	8,396,986	100.0	722,589	100.0
(1) New England	3,108,458	4.3	2,926,310	4.6	164,312	2.0	17,836	2.5
(2) Middle Atlantic	14,108,010	19.4	11,217,535	17.6	2,791,008	33.2	99,467	13.8
(3) Great Lakes	14,749,481	20.3	12,314,410	19.3	2,370,415	28.2	64,656	8.9
(4) Southeast	14,430,158	19.8	13,021,753	20.5	1,344,214	16.0	64,191	8.8
(5) Plains	2,849,866	3.9	2,523,958	4.0	282,547	3.4	43,361	6.0
(6) Southwest	6,775,122	9.3	6,162,530	9.7	495,835	5.9	116,757	16.2
(7) Mountain	1,752,416	2.4	1,689,493	2.7	32,575	0.4	30,348	4.4
(8) Far West	14,980,105	20.6	13,778,052	21.6	916,080	10.9	285,973	39.6
(A) Eastern Half	46,396,107	63.8	39,480,008	62.0	6,669,949	79.4	246,150	34.1
(B) Western Half	26,357,509	36.2	24,154,033	38.0	1,727,037	20.6	476,439	65.9

(2) 地域別人種構成比とその特化係数 （単位 %）

地域	Total 構成比	White 構成比	White 特化係数	Negro 構成比	Negro 特化係数	Others 構成比	Others 特化係数
	%	%		%		%	
C. U. S.	100.0	87.5	1.000	11.5	1.000	1.0	1.000
(1) New England	100.0	94.1	1.076	5.3	0.458	0.6	0.578
(2) Middle Atlantic	100.0	79.5	0.909	19.8	1.714	0.7	0.710
(3) Great Lakes	100.0	83.5	0.955	16.1	1.393	0.4	0.441
(4) Southeast	100.0	90.2	1.032	9.3	0.807	0.5	0.448
(5) Plains	100.0	88.6	1.013	9.9	0.859	1.5	1.532
(6) Southwest	100.0	91.0	1.040	7.3	0.634	1.7	1.735
(7) Mountain	100.0	96.4	1.102	1.9	0.161	1.7	1.744
(8) Far West	100.0	92.0	1.052	6.1	0.530	1.9	1.922
(A) Eastern Half	100.0	85.1	0.973	14.4	1.246	0.5	0.534
(B) Western Half	100.0	91.6	1.048	6.6	0.568	1.8	1.820

U. S. Department of Commerce, *Statistical Abstract of the United States*, 1948, p. 20,および *Ibid.*, 1965, p. 26. より作成。

1.714, Great Lakes 1.393の2地域。残余の6地域は1より小さい。一番小さいのは Mountain の0.161。Eastern Half は1.246, Western Half は0.568。

黒人人口の最小二乗法曲線は次の通りである。r_i は人口 P_i と年代 t の相関係数を示す。　P_i は人口数，単位　人.　t は1920年原点，10年単位

0.	C. U. S.	$P_0=10,689,992+285,360t+427,288t^2$	$(r_0=0.99461)$
1.	N. E.	$P_1=85,949-20,762t+14,627t^2$	$(r_1=0.98727)$
2.	M. A.	$P_2=1,057,113+137,245t+132,531t^2$	$(r_2=0.99514)$
3.	G. L.	$P_3=592,962+11,052t+137,589t^2$	$(r_3=0.99178)$
4.	S. E.	$P_4=7,653,986+211,350t+26,841t^2$	$(r_4=0.98459)$
5.	Pl.	$P_5=289,416+2,540t+15,802t^2$	$(r_5=0.98902)$
6.	S. W.	$P_6=928,385+57,363t+13,365t^2$	$(r_6=0.97166)$
7.	Mt.	$P_7=17,832-8,321t+4,000t^2$	$(r_7=0\ 99328)$
8.	F. W.	$P_8=64,350-105,108t+82,532t^2$	$(r_8=0.99557)$

〝その他 Others〟（アメリカ・インディアン・中国人・日本人・フィリッピン人その他）は伝統的に西部4地域，なかんずく Far West と Southewest 2地域に多い。ただし，傾向的には，年とともに東部にも滲透しており，西部：東部は1920年の84.2%：15.8%から，1960年の72.7%：27.3%に，格差が縮少している。

以上がここ50年間の人種別地域人口の増加に関する考察である。

(2)　人種別地域人口指数

さて，研究対象となっている40年間の人種別地域人口の伸び率の指標たる固定基準法指数（1920年基準）は第3表(2)のとおりである。本土米国全人口で168.8。白人種は168.8。これに反し，黒人種のそれは180.3，“Others,, は269.4と，ともに，全国平均よりも高い。

白人種の指数で全国平均168.8を上廻わったのは Southeast（指数特化係数1.055），Southwest（1.166），Far West（2.097）の3地域（1960年）。小さいのは Plains 地域と New England 地域で，指数特化係数はそれぞれ0.715と0.829。Eastern Half は0.935で全国平均に及ばないが，Western Half は1.132で全国平均を凌駕している。

黒人の指数は，支配的には白人種のそれよりも高い。New England, Middle Atlantic, Great Lakes, Plains, Mountain, および Far West は，いずれも全国平均を上廻わっている。とくに，Far West 地域と Great Lakes 地域の増勢は著しく，指数特化係数はそれぞれ 11.110 と3.110。Southeast は指数117.6（指数特化係数0.652）で，全国平均のそれに遠く及ばない。ちなみに Eastern Half は指数 172.4（指数特化係数0.956），Werstern Half は指数238.4（指数特化係数1.322）。〝その他 Others〟で著しい特徴は，このカテゴリーの人口が東漸運動をしていることである。第3表(3) Others の表でわかるように，Eastern Half と Western Half との構成比は，1920年 15.8％：84.2％から1960年の27.3％：72.7％に大きく変っている。白人種も黒人種も（したがって全人口も）西漸運動傾向にあるのに反し，"Others,, だけは東漸運動をしている。このことは第3表(2)の指数特化係数欄が有力に物語っている。すなわち西部4地域はいずれも1に満たない。ところが，東部4地域はいずれも1を上廻わっている。一番高いのが Middle Atlantic 地域で2.184。ために Eastern Half は1.728, Western Half は0.863。

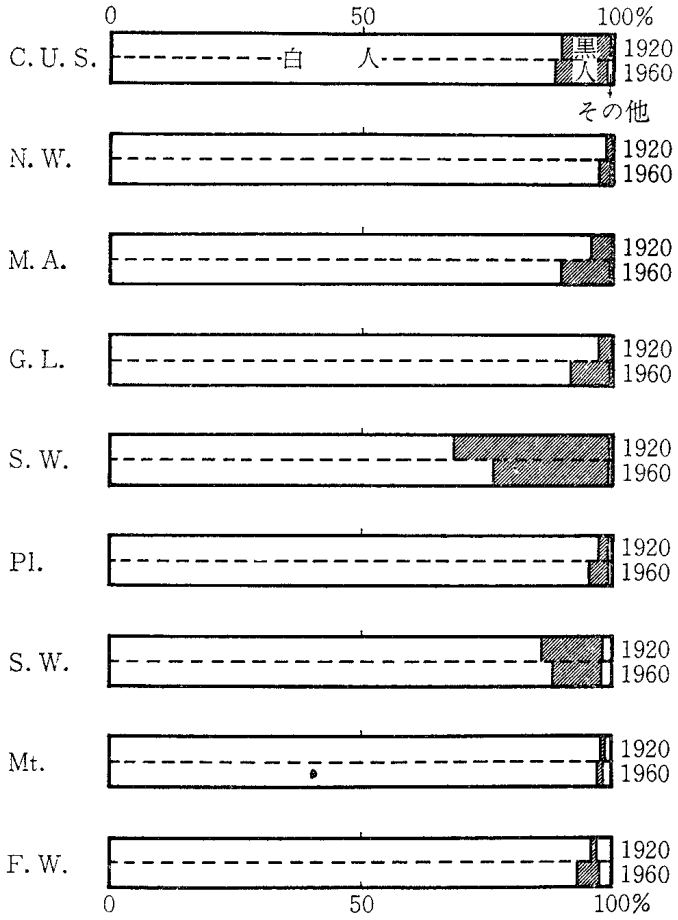
2. 人種別地域人口構造

(1) 人種別地域人口の構造

第3表(3)は人種別地域人口構成比を示す。第5図は第3表(3)のうち，1920年と1960年の人種別地域人口の構成比の変化を示す帯グラフである。また第3表(4)はその特化係数。

さて，第3表(3)合計 (Total) の表を観て気付くことは，(1) Great Lakes 地域を除く他の東部3地域と Plains 地域の構成比が，連年減少していること，その結果，Eastern Half の構成比が，連年減衰していること，(2) Western Half のうち，Southwest 地域と Far West 地域の構成比が増加していること，とくに後者の構成比が著しく増加

第5図　人種別地域人口構成比



していること，そのため，Western Half の構成比が4％増加していること，(3) Great Lakes, Mountain 両地域のそれは横這状態にあることである。

白人種の地域人口構成比の特徴は，(1) New England, Plains, Middle Atlantic の3地域は逓減的，(2) Great Lakes, Mountain 両地域は横這状態，(3) Southeast, Southwest および Far West 3地域は逓増的，とくに，Far West の伸びは著しい。(4) Eastern Half は逓減的，Western Half は逓増的。

白人特化係数で1を超えるのは，1960年現在，Southeast, Southwest の2地域を除く6地域。そのうち最も高いのは New England の（1.097）と Mountain（1.097）の2地域。他方，特化係数の最も低

いのは，——換言すれば，黒人の多い地域は—— Southeast (0.863) と Southwest (0.996)。

二区分法によれば，Eastern Half は0.979, Western Half は1.048であるから，ミシシッピー河以東に黒人が，絶対的にも相対的にも，多く住み，以西では，絶対的にも相対的にも，少いことがわかる。

次に黒人。(1) Southeast は黒人地域である。1920年現在，全黒人の73.0%，1960年には47.6%が Southeast 地域に住んでいる。相対的には逓減的であるとはいえ，いまなお黒人の約50%が Southeast に住んでいる。(2) Southeast, Southwest の2地域は，黒人人口の全国構成比は逓減的，(3)他の6地域は全部逓増的。とくに，Middle Atlantic, Great Lakes, Far West の3地域の伸びは目ざましい。黒人は移民しないから——外国から入って来ないから——，Southeast および Southwest，とくに前者からの黒人が，この3地域に拡散的にあるいは飛び石的に，移住しつつあると考えられる。すなわち，アメリカの東南部からの黒人の周縁的北漸・西漸運動現象をみることができる。このことは Eastern Half と Western Half の構成比の推移をみれば明らかであろう。

黒人特化係数は，1960年現在，Southeast のみが1を超えており，2.193。これは1920年には3.172でさえあった。Southwest は1920年～1950年には1を超過していたが，1960年には，標準1を割っている。Southeast 地域を除く7地域は，すべて，1未満である。また，Eastern Half は1.212, Western Half は0.517。やはり，ミシシッピー河以東は黒人多住地域の特徴を示している。

〝その他 Others〟の多住地域は Far West, Southwest, Middle Atlantic の3地域。しかしここでは Others 人口の東部への滲透現象——周縁的東漸運動が認められる。(1) Plains, Southwest, Mountain 3地域の逓減，(2) Far West の横這，(3) New England, Middle Atlantic, Great Lakes, Southeast の東部4地域の逓増が，——したがっ

て，Eastern Half の逓増，Western Half の逓減——地域別（全国）構成比に関するここ40年間の趨勢であり，特徴である。

(2)　地域内の人種的構造

本土米国 (C. U. S.) および8地域の，各地域ごとの（地域内的）人種構成比は第5表のとおりである。

まず，白人種の構成比が全国 (C. U. S.) のそれよりも高い地域——特化係数1以上の地域——は，New England, Middle Atlantic, Great Lakes, Plains, Mountain, および Far West の6地域。低いのは残りの2地域 Southeast と Southwest。Eastern Half の構成比は全国のそれより低く，Western Half は高い。

黒人の構成比で全国平均を上廻わるものは，Southeast と Southwest。（ただし，後者は1960年には全国平均より小さくなっている。）Southeast の黒人構成比は，他の全地域に抜ん出て高く，ために特化係数は1920年3.172，1960年には2.193となっている。ただし，その構成比は逓減の方向にある。Southwest もまた逓減の一途をたどっている。これに反し，他の6地域は逓増的である。Eastern Half の特化係数は，1960年現在，1.213，Western Half は0.517。黒人構成比の推移からも黒人の（周縁的）北漸西漸傾向を読みとることができる。

Southeast 地域12州が，すべて，均質的に黒人を擁しているわけではない。この地域で黒人構成比の高いのは，上から順に，Mississippi 42.0%，South Carolina 34.8%，Louisiana 31.9%，Alabama 30.0%，Georgia 28.5%……である。1番低いのは，West Virginia 4.8%。ちなみに，本土米国 (C. U. S.) の黒人構成比の最高は首都ワシントンの53.9%，最も小さいのは，North Dakota で0.125%，(777人)。

絶対数では Texas 1,187,125人，Georgia 1,122,596人，North Carolina 1,116,021人，Louisiana 1,039,207人，Illinois 1,037,470人。首都ワシントンは411,737人。一番少いのは Vermont の519人。(4)

(4) U. S. Department of Commerce, U. S. Bureau of the Census, *Statistical Abstract of the United States*, 1965, p. 26.

第5表 (1) 地域内人種構成比　　(2) 地域別人種特化係数

地　　域	1920	1930	1940	1950	1960	1920	1930	1940	1950	1960
	%	%	%	%	%					
(0) C. U. S.	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000
White	89.7	89.8	89.8	89.5	88.6	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000
Negro	9.9	9.7	9.8	10.0	10.5	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000
Others	0.4	0.5	0.4	0.5	0.9	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000
(1) New England	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0					
White	98.9	98.8	98.7	98.4	97.5	1.102	1.099	1.100	1.098	1.098
Negro	1.1	1.2	1.2	1.5	2.3	0.108	0.119	0.124	0.154	0.219
Othes	0.1	0.1	0.1	0.1	0.2	0.201	0.176	0.185	0.227	0.355
(2) Middle Atlantic	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0					
White	95.9	94.7	94.0	92.1	89 9	1.069	1.054	1.047	1.029	1.012
Negro	4.0	5.2	5.9	7.7	9.8	0.408	0.539	0.606	0.770	0.929
Others	0.1	0.1	0.1	0.2	0.3	0.203	0.223	0.266	0.359	0.484
(3) Great Lakes	100.0	100 0	100.0	100.0	100.0					
White	97.5	96.2	95.9	93.9	91.8	1.087	1.071	1.068	1.049	1.034
Negro	2.4	3 7	4.0	5.9	8.0	0.242	0.380	0.411	0.595	0.754
Others	0.1	0.1	0.1	0.2	0.2	0.254	0.252	0.243	0.362	0.373
(4) Southeast	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0					
White	68.6	71 0	72.4	75.0	76.6	0.764	0.790	0.813	0.838	0.863
Negro	31.4	28.9	27.5	24.8	23.2	3.172	2.987	2.811	2.489	2.193
Others	0.1	0.1	0.1	0.2	0.2	0.193	0.204	0.252	0.332	0.333
(5) Plains	100.0	100.0	100.1	100.0	100.0					
White	97.5	97.1	97.0	96.6	95.8	1.087	1.081	1.080	1.078	1.079
Negro	2.2	2.5	2.6	3.0	3.6	0.224	0.258	0.266	0.302	0.345
Others	0.3	0.4	0.4	0.4	0.5	0.789	0.804	0.893	0.918	0.848
(6) Southwest	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0					
White	86.2	86.7	87 0	88.3	88.5	0.961	0.965	0.969	0.986	0.996
Negro	12.2	11.5	11.4	10.2	9.9	1.237	1.184	1.164	1.019	0.936
Others	1.6	1.9	1.6	1.5	1.6	3.888	3.873	3.633	3.236	2.545
(7) Moutain	100.0	100.0	100 0	100.0	100.0					
White	98.1	98.1	98.2	97.9	97.5	1.094	1.092	1.094	1.093	1.097
Negro	0.7	0.6	0.5	0.8	1.1	0.067	0.060	0.054	0.081	0.107
Others	1.2	1.3	1.2	1.3	1.4	2.993	2.765	2.749	2.732	2.221
(8) Far West	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0					
White	96.1	96.0	96.2	94.8	93 1	1.071	1.069	1.072	1.058	1.049
Negro	0.9	1.1	1.4	3.5	4.7	0.086	0.113	0.140	0.348	0.442
Others	3 0	2.9	2.4	1.8	2.2	7.488	6.007	5.314	3.740	3.449
(A) Eastern Half	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0					
White	88.0	88.2	88.1	87.8	86.9	0.981	0.982	0.981	0.980	0.979
Negro	11.9	11.7	11.8	12.1	12.8	1.200	1.203	1.201	1.209	1.213
Others	0.1	0.1	0.1	0.2	0.3	0.215	0.219	0.246	0.342	0.393
(B) Western Half	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0					
White	94.3	94.1	94.2	93.9	93.0	1.051	1.047	1.049	1.049	1.048
Negro	4.4	4.4	4.5	4.9	5.5	0.448	0.457	0.457	0.487	0.517
Others	1.3	1.5	1.3	1.2	1.5	3.164	3.089	2.991	2.622	2.383

(註) 第3表(1)より作成

その他 (Others) 人種。構成比的には Plains 地域を除く西部 3 地域に多く住んでいる。構成比的には Far West, Southwest, Mountain の順，絶対数的には，Far West, Southwest, Middle Atlantic の順に大きい。時系列的には，前記西部 3 地域の構成比は逓減している。これに反し残り 5 地域のそれは逓増しつづけている。ゆえに，"Others" 人種がアメリカの南西地方から 1 象眼内的に拡散転移していることがうかがえるであろう。

（紙数もつきたので，人口の国内移動はじめその他の諸問題については稿をあらためて研究したいと思う。

なお，統計資料の制約から，人種別地域人口に関しては，1920年以降の分析しか出来なかった。将来，資料を得て，1860年まで遡及し分析したいと思う。）

（1966. 11. 5.）